

## 事業実績書

事業名	大岡地区公共交通推進住民協議会
場所	沼津市大岡地内
期間	2019年 5月 7日 ~ 2020年 3月 31日
日程	実施項目・作業項目
6月11日	第6回（昨年からの通算回数）大岡地区公共交通推進住民協議会 於：大岡地区センター 参加人数：約40人 早稲田大学井原准教授による講演「地域公共交通の仕組みと住民主導コミュニティ交通の作り方」
7月18日	川崎市視察研修 参加人数：5人 視察先：川崎市宮前区役所 川崎市まちづくり局交通政策室から、コミュニティバス「山ゆり号」「みらい号」「あじさい号」の運行と住民協議会の関わりについて説明を受ける
9月5日	沼津市地域公共交通網形成計画 説明会に参加
10月3日	愛知県北設楽郡公共交通活性化協議会視察研修 参加人数：6人 視察先：設楽町役場議場、豊鉄バス田口新城線に乗車 北設楽公共交通活性化協議会、おでかけ北設、津具地区の空白地有償運送等について設楽町役場企画ダム対策課より説明を受ける
事業内容	  <p>基幹バス田口新城線（田口～水上間）実乗車</p>
	10月11日 沼津市に次年度の社会実験を要望
	10月17日 第7回大岡地区公共交通推進住民協議会 於：大岡地区センター 参加人数：約30人 住民アンケート中間報告、先進地視察報告、早稲田大学井原准教授による空白地域における運行方法の説明など
	

11月11日 大岡地区商業施設への説明会  
於：大岡地区センター 参加者：西友・マム店長  
バス利用者へのサービス、駐車場の提供、運行への協賛などの可能性調査  
マックスバリュには後日書類を届けて説明

11月27日 大岡連合自治会定例会にて協議会の活動状況を報告

1月21日 アイシン精機視察研修 参加人数：10人（市役所、ダイハツ沼津含）  
視察先：アイシン精機イノベーションセンター（刈谷市）、乗合送迎サービス「チョイソコとよあけ」乗車（豊明市）  
高齢者対象の予約制移動サービス「チョイソコとよあけ」の仕組みについてアイシン精機担当者より説明を受け、豊明市役所～福祉体育館間で実車に試乗



2月17日 市まちづくり政策課、ダイハツ沼津、アイシン精機との協議



3月18日 コアメンバー会議メンバーが頼重市長に令和元年度の活動を報告  
参加人数：7人



その他

- ・広報紙「コミュニティ大岡」で協議会の活動状況を周知
- ・アンケート調査の実施  
住民協議会における議論の結果、移動に困難を抱えている高齢者を対象に実施することとした。  
日吉いきいき、下石田長寿会、下石田喜楽会、黄瀬川いきいき、駅前町いきいき、大岡社協、大岡まつり、中石田、大岡団地、平和郷などに出向いてアンケート調査を行ったほか、きせがわ包括支援センターを通じて福祉事業所にも調査に協力をいただき、325通を回収することができた。
- ・コアメンバー会議の実施：随時

<p>事業効果</p>	<p>平成 29 年度の市による社会実験を機に、7 回の住民協議会を重ねてきた。当初は各々が思いを語るだけで意見の集約が図れなかったが、回を重ねるに連れて現実的な意見が増え、徐々にではあるが着地点に近づいていると感じている。</p> <p>成果指標として地域住民の移動手段確保に関する関心度、指標の検証方法として住民アンケート回収率 50%を掲げたが、上記のとおりアンケートの大将を交通弱者である高齢者に絞り、高齢者が集まる場所で調査を行ったため、回収率を測ることができなかった。</p> <p>「コミュニティ大岡」の表紙に必ず公共交通住民協議会を記載するなど、住民意識の向上を図った。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>年度途中までは空白地有償運送を目指す方向で検討を進めたが、現状では、豊明市の「チョイソコとよあけ」の仕組み導入に傾きつつあり、資金面、運行ルート、既存交通との調整などの課題の検証を進めていく。</p> <p>沼津市に令和 3 年度における社会実験の費用の一部を予算化していただいたので、実効性の高い社会実験とするためのスキームについて更なる検討を重ねる必要がある。</p>
<p>自己評価</p>	<p>住民協議会については、年間を通じて高い熱意をもって活動することができたと考えている。公共交通に限らず、住民自らが地域課題の解決に取り組むモデルケースになり得るのではないかと考えている。新たな社会実験の実施に向けて、住民の興味関心を高めていく必要性を感じている。</p> <p>最後になったが、まちづくりファンド事業への採択、まちづくり政策課の助言指導など、沼津市の協力を感謝したい。</p>